



エースモール
事業



エスパー等非破壊探査
事業



点検リニューアル
事業



環境事業

NTT Group

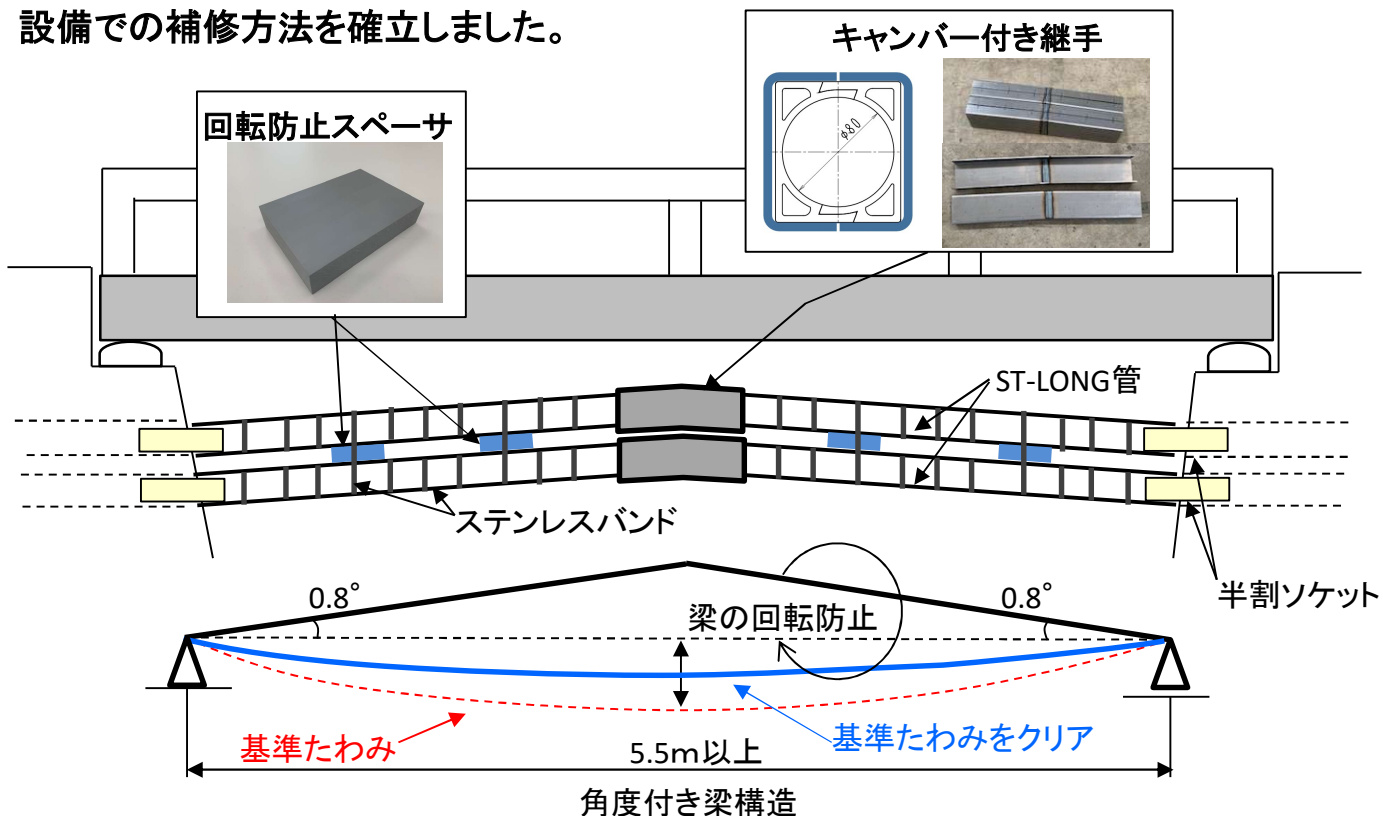
アイレック技建

ST-LONG管による管橋補修技術

ST-LONG管による5.5mを超える管橋の補修方法(2026年度SOP化)

技術の概要

管路設備で橋を渡る設備(管橋)の補修方法としてST-LONG管による補修方法がありますが、施工長5.5mまでの適用でした。そこでキャンバー付き継手の開発により5.5mを超える管橋設備での補修方法を確立しました。



技術の特徴

- キャンバー付き継手(角度がある継手)によるたわみ基準(L/300)をクリア。
- 上向きに角度でST-LONG管を安定させるための回転防止スペーサによる安全対策の確立。

施工事例(能登半島地震での災害復旧にて)

5.5m以上ある添架管路が地震で座屈しましたが、キャンバー付き継手によるST-LONG管補修により管橋設備として補修を可能にしました。



補修前



補修後

お問い合わせ先

設備診断再生事業本部 営業開発部

〒111-0034 東京都台東区雷門1-4-4 ネクストサイト浅草ビル7F

TEL:03-3845-8192 FAX:03-3845-8189 <http://www.airec.co.jp>

(2026.05)